



今回の終末における進歩の二大法則

今回の終末は全人救済です。つまり五十三億人のすべての人が、進歩の二大条件を通過することです。すべての人が真に求めてすべての人がテストに合格する、そうでないと全人救済にならないのです。全人救済は謳い文句ではない、今回は一握りの人だけが救われて、はじめからやり直しをしたアトランティスとは違うというのです。シルバー・バーチもはつきりと言っているように新時代が到来する、地上天国になる、ということなのです。つまり、アトランティスの二の舞ではなく、人類も地球も次元アップする、すなわち、進歩の二大条件をすべての人が通って目覚めるといふことなのです。

なぜそれが可能なかということ、今回の終末においては特別な措置が

とられているからです。カルマの根が切られているので、求めたら必ず目覚められるようになっていくのです。しかし、このまま人類がエゴイズムの生き方をやめようとしないならば、真に求めさせられるための、想像を絶する大艱難がくるでしょう。いやでも応でも求めざるを得なくなるための艱難であり、そして又テストです。だから必ずパスするようになっていくのです。しかし、この大艱難は神様が与えたものではなく、人類がエゴイズムの生き方を止めずに地球の次元アップについていけずに不調和を起こしているところからくる軋轢あつれきなのです。シルバー・バーチが言っているようにすべて物質的なものが失われて後、人は初めて一本の藁を求めるのです。だからすべて物質的なもの、経済的なものから環境からすべて破壊されて、親子関係も絶たれ、すべてを失った時、人はじめて一本の藁を求める、その時人は神の声をきき光が見えてくるの

です。その時人は初めて目覚めるのです。だからこれは、放っておけばこのような想像を絶する大艱難になって、カルマの根が切られていますから、最終的に必ず五十三億人すべてが求めたら目覚めるというのです。そのかわり地球は大破壊と汚染を受けて何百年も使いものにならない位深く傷つき、人間も建設要員が少なければ長年月で建設していかなければならず、さんたん惨憺たる状況の中でやっと地上天国に辿り着くということになるでしょう。

神さまは愛ですから、カルマの根を切ってこのような終末においても必ず地上天国になるように目覚めの法則でもって計っているわけです。それも愛ですが、絶対の愛であるということは、そういう大艱難を経なくても地上天国になる道も用意しておいて下さるということです。これは特別に用意したというのではなく法によって用意したのです。この法

を
実
践
し
よ
う
と
い
う
の
が
で
く
の
ぼ
う
革
命
で
す。